

裾交指会報

No.3

令和4年11月

発行 / 裾野市交通指導委員会 編集 / 裾野市交通指導委員会広報委員 印刷 / 大和印刷株式会社

【裾野市交通指導委員会とは】

昭和30年頃から子どもの交通事故増加に伴って、地域の有志が自発的に街頭指導を行い始め、その後、市町村長の委嘱による民間交通指導員が誕生しました。裾野市では昭和38年に県下で初めて当時の町長から委嘱状が交付され、活動を開始しました。

活動内容は、朝の小学校登校時刻に街頭指導、夜間における地域での交差点における立哨、保育園、幼稚園、小学校での交通安全教育活動への協力、学校行事における児童の安全確保、地域の祭典や催事の際の協力その他日頃の交通安全のための啓発活動等を行っております。

「人生は一度、命は一つ」と言われます。住民が安心して暮らすことができる地域社会実現のため、交通死亡事故0を目指し今後とも鋭意邁進してまいります。



会長挨拶

～交通死亡事故ゼロを目指して～

令和4年4月29日に交通死亡事故ゼロ連続900日達成し、このまま裾野市での死亡事故ゼロがいつまでも続いてくれればよいと思っていた矢先、6月19日未明、富沢地先の国道246号バイパス線において乗用車どうしの衝突により、二人がなくなるという、悲惨な事故が発生しました。

我々、交通指導員会は、市民の交通安全の確保を最大の目的とし、朝の交差点での立哨をはじめ、夜間街頭指導、交通事故防止の為の啓発活動など、非力ながら地道な活動を会員一丸となり行っております。

このような事故が繰り返されぬよう、一層尽力したいと決意を新たにしているところであります。



みなぐち たけま
水口 毅真

平成18年 交通指導員として活動を開始
平成26年 西地区理事として、地区活動の取りまとめを担当
平成28年 指導部長に就任し、指導員の技術向上を担当
令和2年 会長に就任し、なお一層精力的に活動を行う
令和4年 県連合会副会長兼総務部長
裾野市交通指導委員会対策委員